

2/17 木 晴

陸自靖国参拝当然視 ■ 情報漏れだと攻撃

衆院予算委

日本維新の会の住吉議員は、陸上自衛隊幹部の靖国神社参拝を追及し、問題の参拝を報じた「ひとと赤旗」の記事を示して、「参拝するところ情報が外れていた」などと発言しました。

住吉氏は「自衛隊の幹部が

この間の参拝、それとは部隊の無事を祈りて参拝する」と前文で

維新・住吉議員質問 憲法を二重に蹂躪

の問題があらわされた」と発言。 「『赤旗』をとりわけこうわむではない」とつづり、「赤旗」が掲載した小林弘樹陸上幕僚副長の写真を問題視し、「Jの人人が靖国神社を参拝する」から情報が外部に漏れていた」「日本の氏の発言は、憲法の政教分離原則に反する陸自の組織的参拝を擁護したの」など、憲法が保障する報道などの「表現の自由」を離かすもので、憲法を二重に蹂躪しているとするのです。

そもそも「赤旗」が報じた陸上自衛隊の靖国神社参拝は公用車

を使用し、陸自の「航空事故調査委員会」による「安全祈願」として企画され、「実施計画」を「行政文書として作成され、保存されてる」(一月12日)、茂木陽防衛省報道官の記者会見も、事務次官通達(1974年)が禁じる組織的参拝だといったことは明らかです。住吉